

教育委員会事務点検・評価報告書

(平成29年度事務事業対象)

平成30年 8月

呉市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 呉市教育委員会の点検及び評価	
(1) 手順	2
(2) 対象	2
(3) 方法	2
3 知見の活用	3

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長	4
2 教育委員会委員	4
3 教育委員会会議	
(1) 平成29年度議決事項	4
(2) 平成29年度報告事項	5
4 研修会等への参加状況	
(1) 会議・研修会	7
(2) 行事等	7
(3) 学校訪問・公開研究会等	7
(4) その他	8

III 点検及び評価の結果

1 平成29年度対象課題と評価結果	9
2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置づけ	
(1) 重点プロジェクト	10
(2) 基本政策	10

(平成30年度点検・評価シート)

・遠距離等通学児童生徒に対する支援（教育総務課）	11
・普通教室への空調設備の設置（学校施設課）	13
・学校施設の耐震化（学校施設課）	15
・中学校給食室の整備（学校施設課）	17
・小中一貫教育の推進（学校教育課）	19
・文化・芸術体験活動の推進（学校教育課）	21
・特別支援教育の推進（学校安全課）	23

• 生徒指導の充実（学校安全課）	2 5
• 安全対策の推進（学校安全課）	2 7
• 青少年健全育成事業の推進（文化振興課）	2 9
• 文化財の活用と管理（文化振興課）	3 1
• 図書館サービスの向上（中央図書館）	3 3
• 図書館の適正な管理運営（中央図書館）	3 5

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」が改正され、平成20年度から、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

本報告書は、平成29年度の呉市教育委員会に属する事務（市長部局に事務移管された文化・スポーツに関する事務を除く。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

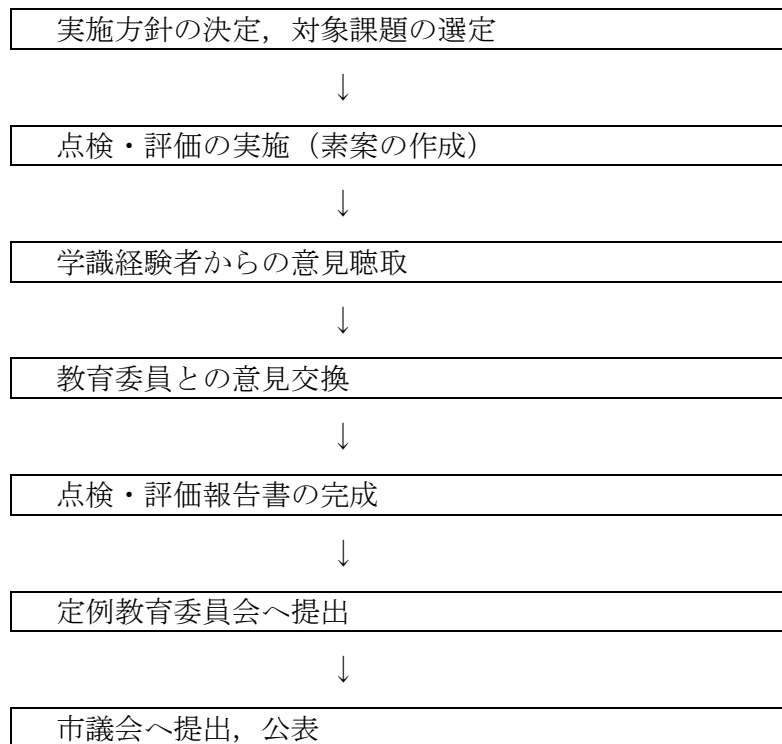
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 呉市教育委員会の点検及び評価

(1) 手順

平成29年度に呉市教育委員会において執行した事務事業について、次の手順で点検及び評価を行いました。



(2) 対象

点検及び評価は、各部署が抱えている課題のうち、それぞれが平成29年度の重点課題と位置付けているもの（全13課題を抽出。以下「対象課題」という。）を対象としました。

※本報告書では、対象課題ごとに課題解決に向けて実施した事務事業の分析・評価を通じて、今後の取組を検討しています。対象課題については、9ページ「平成29年度対象課題と評価結果」を参照してください。

(3) 方法

点検及び評価は、各部署が抽出した対象課題ごとに、次の内容を明らかにすることにより行いました。

- ・対象
- ・事業概要（事業内容）
- ・実施方法
- ・意図・目的
- ・成果指標
- ・投入資源
- ・活動実績
- ・学識経験者の意見
- ・担当課の評価（自己評価・点検，現在の課題と課題解決の取組，今後の方向性）
- ・振返り項目

■具体的な点検・評価の方法は…

対象課題ごとに、「課題解決のためにどんな取組を行ったのか」、「なぜ課題を克服できなかったのか」、「課題を克服するために何が必要か」という視点で点検・評価（課題分析）を行い、学識経験者の意見を踏まえ、達成状況等を評価し、「今後何が必要か、次年度以降にどうつなげていくのか」などについて「今後の取組・方向性」としてまとめています。

■評価（評価結果）の判断基準…

評価に当たっては、対象課題ごとに、「事業（取組）実績」、「事業費」、「成果・課題」、「課題取組」の各項目を総合的に考察し、取組に対する達成状況を以下の基準に沿って評価しました。

指 標	評 価 に 当 た っ て の 基 準
A （ 達 成 ）	十分成果が上がっている（計画どおりに進んでいる）
B （おおむね達成）	成果が上がっている（おおむね計画どおりに進んでいる）
C （一部未達成）	成果が十分でなく改善の余地がある（一部計画どおりに進んでいない）

3 知見の活用

点検及び評価は、その客観性を確保するため、呉市教育委員会において執行した事務事業の状況等について、次の3名の学識経験者の方から意見聴取を行いました。

・意見聴取日 平成30年7月3日（火）

氏 名	役 職 等
あさくら あつし 朝倉 淳	広島大学客員教授
ぬくい のぶとし 温井 信聡	呉市PTA連合会副会長
ふるえ ゆきえ 古江 由紀枝	呉市民生委員児童委員協議会会長 呉市社会教育委員

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長

(平成30年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	てらもと あり のぶ 寺本 有 伸	H30. 4. 1～H33. 3. 31	

2 教育委員会委員

(平成30年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長職務代理者	もり お けい すけ 森 尾 敬 介	H28. 3. 27～H32. 3. 26	会社役員
委員	ふな お しん 船 尾 慎	H29. 4. 1～H33. 3. 31	保護者代表
委員	か がわ はる こ 香 川 治 子	H27. 4. 1～H31. 3. 31	医師
委員	さ さ き はじめ 佐々木 元	H29. 9. 26～H33. 9. 25	歯科医師

3 教育委員会会議

「呉市教育委員会会議規則（平成5年7月5日教委規則第9号）」において、定例会を毎月1回、必要がある場合には臨時会を開催することを定めています。

平成29年度においては、定例会を12回、臨時会を2回、それぞれ開催しました。

(1) 平成29年度議決事項（※：市長へ意見申出）

提案年月日	番号	件名
平成29年 4月21日	13	「教育委員会事務点検・評価（平成28年度事務事業対象）」の実施について
	14	呉市教科用図書の採択に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
平成29年 5月22日	15	平成30年度に呉市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	16	平成30年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	17	平成30年度に呉市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	18	呉市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

平成29年 6月26日	19	請願書について（2018年度使用小学校道徳教科書の採択に関する要望及び請願）
	20	臨時代理の承認について（契約の変更について（東畑中学校校舎建設工事）※
	21	呉市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について
	22	呉市社会教育委員の委嘱及び任命について
	23	呉市立美術館運営審議会委員の委嘱について
平成29年 7月21日	24	呉市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について
	25	公文書不存決定に対する異議申立てに係る裁決書（社会科歴史的分野）について
平成29年 7月28日	26	公文書不存決定に対する審査請求に係る裁決書（社会科歴史的分野）について
	27	「教育委員会事務点検・評価（平成28年度事務事業対象）」に係る意見交換について
平成29年 8月22日	28	平成30年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について
	29	「教育委員会事務点検・評価報告書（平成28年度事務事業対象）」について
	30	平成30年度使用教科用図書の採択について（呉高等学校用）
	31	平成30年度使用教科用図書の採択について（小中学校特別支援学級用）
平成29年 9月27日	32	平成30年度使用教科用図書の採択について（小学校用「特別の教科 道徳」）
	33	臨時代理の承認について（契約の締結について（和庄中学校体育館建設工事）※
平成29年11月20日	34	臨時代理の承認について（平成29年度教育費補正予算）※
平成29年12月15日	35	呉市教育委員会教職員住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について
	36	臨時代理の承認について（平成30年度教育費予算）※
平成30年 1月18日	1	平成30年度教育費予算復活要求について※
平成30年 2月19日	2	平成30年度「呉の学校教育」について
	3	呉市立幼稚園園則の一部を改正する規則の制定について
	4	臨時代理の承認について（平成29年度教育費補正予算）※
	5	臨時代理の承認について（定数条例の一部改正）※
平成30年 3月 7日	6	教職員人事について
平成30年 3月23日	7	呉市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
	8	臨時代理の承認について（契約の締結について（片山中学校校舎・体育館建設工事））※
	9	呉市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	10	呉市立呉高等学校教職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	11	呉市文化財保護委員会委員の委嘱について
	12	職員人事について

(2) 平成29年度報告事項

報告年月日	番号	件名
平成29年 4月21日	5	寄附受納について
	6	専決処分について

平成29年 5月22日	7	平成30年度使用教科用図書（小学校「特別の教科 道徳」）の採択手続きについて
	8	平成30年度使用教科用図書（小学校「特別の教科 道徳」）採択のための調査・研究要項について
	9	平成30年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択手続きについて
	10	平成30年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択手続きについて
	11	平成29年度学校別児童，生徒数等について
	12	広島県に対する提案事項について
平成29年 6月26日	13	寄附受納について
	14	呉市立小中学校施設の耐震化の状況について
	15	平成28年度生徒指導上の諸問題の状況について
	16	平成28年度学校安全の状況について
平成29年 7月21日	17	平成30年度呉市立呉高等学校入学者選抜について
	18	寄附受納について
平成29年 8月22日	19	専決処分について
	20	寄附受納について
平成29年 9月27日	21	文教企業委員会の所管事務調査（「教員の勤務実態」について）
	22	呉市学校給食共同実施校における米飯提供について
平成29年10月18日	23	北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について
	24	「公文書に適正管理に関する要請」について（呉市情報公開審査会の答申）
平成29年11月20日	25	平成28年度定期監査の結果改善又は検討を要望する事項の措置について
	26	寄附受納について
平成29年12月15日	27	ユネスコ記憶遺産登録決定について
	28	平成29年度教育費補正予算について
	29	寄附受納について
平成30年 1月18日	30	呉市立呉高等学校の平成30年度入学者選抜実施要項について
平成30年 2月19日	1	平成30年度教育費予算について
平成30年 3月23日	2	専決処分について
	3	平成29年度教育費補正予算について
	4	公共工事（教育部）の契約の変更について（和庄中学校体育館建設工事）

4 研修会等への参加状況

(1) 会議・研修会

時 期	名 称	概 要
平成29年 5月	広島県市町教育委員会連合会総会 (広島市で開催)	教育長職務代理者(以下「代理者」という。)が県連会長として出席※当連合会は、県内市町の教育委員会(13市9町)で構成され、代理者は平成18年度から県連会長に就任
平成29年 7月	広島県女性教育委員グループ総会及び第1回研修会 (広島市で開催)	委員1名が総会及び第1回研修会に出席 ※当グループは、県内の女性教育委員により構成
	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会 (東広島市で開催)	委員3名が出席 ※中国地区市町村教育委員の研修会として2年に1回開催
平成29年10月	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会 (広島市で開催)	委員1名が出席 ※県内市町教育委員の研修会として年1回開催
平成29年11月	広島県女性教育委員グループ第2回研修会 (東広島市で開催)	委員1名が出席
	市町村教育委員会研究協議会 (那覇市で開催)	委員1名が出席
平成30年 2月	広島県女性教育委員グループ第3回研修会 (広島市で開催)	委員1名が出席

(2) 行事等

時 期	概 要
平成29年 4月	呉市立呉高等学校入学式に出席
	呉市立小・中・高等学校合同校長会に出席
平成30年 1月	教育委員会仕事始めの式に出席
平成30年 3月	呉市立小・中・高等学校卒業式に出席

(3) 学校訪問・公開研究会等

時 期	名 称	概 要
平成29年10月	小中一貫教育研究会 (東畑, 警固屋, 吉浦中学校区で開催)	小中一貫教育について実践的な研究を行う学校において、研究発表や授業参観(公開研究会)を実施
	学力向上推進地域研究会	昭和中学校区(学力向上推進地域)で開催
	教育研究会	呉中央小学校(平成29年度「外部専門機関と連携した英語教育指導力向上事業」指定校)で開催
平成29年11月	公開研究会	宮原中学校(平成29年度「道徳教育改善・充実」総合対策事業 指定校)で開催
平成30年 1月	公開研究会	昭和中央小学校(平成29年度文部科学省委託 人権教育研究推進事業)で開催

(4) その他

時 期	名 称	概 要
平成29年 5月	呉市総合計画審議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は企画部企画課，任期2年
平成29年 6月 平成29年12月	呉市青少年問題協議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は文化スポーツ部文化振興課，任期2年
平成29年 7月 平成29年12月	呉市環境審議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は環境部環境政策課，任期1年
平成30年 2月	呉市民生委員推薦会	委員から1名が委嘱 ※事務局は福祉保健部福祉保健課，任期3年

Ⅲ 点検及び評価の結果

1 平成29年度対象課題と評価結果

	課 名	対 象 課 題	評 価
1	教育総務課	・遠距離等通学児童生徒に対する支援	A
2	学校施設課	・普通教室への空調設備の設置	A
		・学校施設の耐震化	A
		・中学校給食室の整備	A
3	学校教育課	・小中一貫教育の推進	A
		・文化・芸術体験活動の推進	A
4	学校安全課	・特別支援教育の推進	A
		・生徒指導の充実	B
		・安全対策の推進	A
5	文化振興課	・青少年健全育成事業の推進	B
		・文化財の活用と管理	A
6	中央図書館	・図書館サービスの向上	B
		・図書館の適正な管理運営	A

※全13課題

※評価欄「A」＝達成, 「B」＝おおむね達成, 「C」＝一部未達成

2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け

注1) 後期基本計画【平成29年度改定版】から教育委員会関係分を抜粋

注2) 平成29年度点検・評価シートの「対象課題の位置付け」欄参照

(1) 重点プロジェクト

重点戦略	重点プロジェクト	今後5年間で重点的に取り組む事業	
1 人づくり	(1) 未来を担う人材の育成	ア 心豊かでたくましい「呉の子ども」を育てる 教育の推進	(ア) 特色ある呉の教育の推進 (イ) 小中一貫教育の推進 (ロ) 大学と連携したアスリートの育成 (ハ) 小中学校施設の建替え (ニ) 小中学校普通教室への空調設備の設置 (ホ) 文化・スポーツ応援事業 (ヘ) 安浦中学校給食室の整備
		イ 高等学校教育の充実	(ア) 教育備品のICT化の推進 (イ) 呉高等学校施設の耐震化 (ロ) 呉高等学校選択教室への空調設備の設置

(2) 基本政策

まちづくり分野	基本政策	基本施策	今後5年間で取り組む代表的な施策
1 教育分野	(1) 学校教育	ア 義務教育の充実	(ア) 教育内容の充実 (イ) 特別支援教育の推進 (ロ) いじめ・不登校や問題行動等への取組 (ハ) 安全・安心な環境づくり (ニ) 教育環境の整備 (ホ) 地域に開かれた特色ある学校づくり (ヘ) 企業・高等教育機関等との連携
		イ 高等学校教育の充実	(ア) 学力の向上による進路実現 (イ) 地域・社会に貢献する人材の育成 (ロ) 教育環境の整備 (ハ) 高等学校教育の振興
	(2) 社会教育	ア 家庭教育・青少年教育の充実	(ア) 保護者の教育力の向上 (イ) 地域の教育力の活用 (ロ) 青少年育成活動の推進
	(3) 文化・スポーツ	ア 文化の振興	(ア) 質の高い文化に触れる機会の拡充 (イ) 市民文化活動の振興 (ロ) 文化財の保護・保存・活用の推進 (ハ) 歴史資料の整理・研究の推進

平成30年度点検・評価シート

		評価対象年度	平成29年度
整理番号	1	部課G名	教育部教育総務課企画グループ
点検項目	遠距離等通学児童生徒に対する支援	1次評価者	教育総務課長 大森和雄
		作成年月日	平成30年5月18日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	11 学事費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画
	細事業	18 通学支援事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	平成17年度
	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・呉市遠距離等通学費補助金交付要綱 ・呉市補助金等交付規則
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立学校の児童生徒及び保護者												
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 遠距離等通学費補助制度 児童生徒が、遠距離や通学上の危険要因等により、学校長の許可を得て公共交通機関を利用して通学する場合、年2回、6か月定期代相当額を上限として助成する。</p> <p>(1) 補助率 10/10</p> <p>(2) 保護者負担の軽減を図るため、定期券の現物支給(JR定期券前期分を除く。)を実施 現物支給の割合:約98%(交付金ベース)</p> <p>2 スクールバス, タクシー運行業務 児童生徒で公共交通機関を利用して通学することが困難な地域に住む者や臨時的にその利用便がないときに、スクールバスやタクシーを運行して通学手段を確保した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>運行状況</th> <th>年度</th> <th>所有車輛</th> <th>地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">29</td> <td>呉市業者</td> <td>下蒲刈, 倉橋, 蒲刈 昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊</td> </tr> </tbody> </table>					運行状況	年度	所有車輛	地区		29	呉市業者	下蒲刈, 倉橋, 蒲刈 昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊
運行状況	年度	所有車輛	地区										
	29	呉市業者	下蒲刈, 倉橋, 蒲刈 昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊										
		(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他					
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	児童生徒の通学手段及び通学時の安全を確保するとともに、負担の軽減を図る。		(5) 成果指標 指標名と説明	<input type="checkbox"/> 遠距離等通学費補助金交付人数 <input type="checkbox"/> スクールバス等利用児童生徒数									

3 投入資源・活動実績

投入資源		区分	単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)
事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円		7,472	7,258	5,537	5,537
		県支出金 ②	千円		1,494	1,451	1,107	1,107
		地方債 ③	千円		3,500	3,400	2,900	2,900
		その他 ④	千円					
		一般財源 ⑤	千円		114,068	105,030	107,342	107,342
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円		0	126,534	117,139	116,886
人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役		1.70	1.70	1.70	1.70
		再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
		嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
		上記以外 ④	千円					
	【B】(①×7,990千円+②×3,400千円+③×2,168千円)	千円		0	13,583	13,583	13,583	13,583
フルコスト【A】+【B】		千円		0	140,117	130,722	130,469	130,469
活動実績	対象指標	① 児童生徒数(5/1現在)	人		小 10,632 中 5,387	小 10,570 中 5,128	小 10,435 中 5,091	小 10,435 中 5,091
		② 通学費補助対象校	校		小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26
		③ スクールバス等対象校	校		小 7/36 中 2/26	小 9/36 中 2/26	小 9/36 中 2/26	小 9/36 中 2/26
	活動指標	① 遠距離等通学費補助額	千円		小 38,618 中 52,776	小 36,314 中 49,190	83,300	83,300
		② スクールバス等の路線数	路線		11+臨時便8	11+臨時便8	9+臨時便7	9+臨時便7
	成果指標	① 遠距離等通学費補助金交付人数	人		小 1,160 中 813	小 1,086 中 746	小 1,039 中 731	小 1,039 中 731
		② スクールバス等利用児童生徒数	人		小 240 中 64	小 294 中 55	小 273 中 51	小 273 中 51
	特記事項							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・通学の安全確保は非常に大事なことであり、補助制度やスクールバスの運行により、適切に進められていると考える。 ・大阪北部地震のこともあるので、本件事業のみならず、通学時の安全確保には、最大限、努力していただきたい。 ・呉市所有車両については、安全面に十分配慮しながら、更新時期の見極めと、更新するの可否かの検討をお願いしたい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果 <div style="font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠距離等通学費補助制度を利用して通学する児童生徒に定期券を現物支給することで、保護者の経済的負担の軽減を図った。 ○ 学校統合等により遠距離通学している児童生徒に対して、スクールバス、タクシーを運行して、安全な通学手段を確保した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールバスと公共交通機関が重複して走っている路線がある。また、呉市所有車両も車齢を重ねていることから、スクールバスから公共交通機関への移行を検討する必要がある。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠距離等通学費助成制度の継続により、児童生徒の通学時の安全確保と保護者の経済的負担の軽減を図っていく。 ○ スクールバスについては、現段階では、民間委託経費より安価な経費で運行できる市所有バスの運行を継続し、老朽化等で使用できなくなった場合は業者所有バス又は路線バス等への移行を検討する。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全な通学手段を確保するため今後とも事業を実施していく。 ・市所有のスクールバスから並行運行している路線バス・生活バスへの転換について関係課と協議を行っていく。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、公共交通機関の乗車状況の調査を実施した。 ・今後は学校統合も視野に入れながら、検討を行う。

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度	平成29年度
---------------	---------------

整理番号	2	部課G名	学校施設課経理G
点検項目	普通教室への空調設備の設置	1次評価者	課長 福田伸雄
		作成年月日	平成30年4月27日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生関連 <input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画 <input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画 <input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画
	款	19	教育費		
	項		小学校費(中学校費)		
	目	10	学校建設費		
	事業	60	小学校改修費(中学校改修費)		
細事業	61	小学校大規模改造事業(中学校大規模改造事業)		<input type="checkbox"/> 1次 <input type="checkbox"/> 2次 <input type="checkbox"/> 3次	
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業開始年度	平成28年度
	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	学校教育法, 学校保健安全法, 学校環境衛生基準
	<input type="checkbox"/> 市任意事務				

2 点検項目の概要

(1) 対象	・平成30年度末までに、呉市立小中学校の全普通教室に空調設備を設置 (中学校26校, 小学校36校)																
(2) 事業概要 (事業内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td></td> <td>実施設計</td> <td>設置 (36校, 423教室)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>実施設計</td> <td>設置 (26校, 210教室)</td> <td>設置(学級増加分) (1校, 1教室)</td> </tr> </tbody> </table>						28年度	29年度	30年度	小学校		実施設計	設置 (36校, 423教室)	中学校	実施設計	設置 (26校, 210教室)	設置(学級増加分) (1校, 1教室)
	28年度	29年度	30年度														
小学校		実施設計	設置 (36校, 423教室)														
中学校	実施設計	設置 (26校, 210教室)	設置(学級増加分) (1校, 1教室)														
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他												
(4) 意図・目的	児童生徒の主な学習・生活の場である普通教室に空調設備を設置し, 生理的・心理的に負担をかけない最も学習に望ましい室温(夏場:25℃~28℃)に保つことにより, 快適な学習環境を確保する。		(5) 成果指標	児童生徒等が健康を保持して学習することのできる教育環境を整備する。平成30年度末までに全小学校へ空調設備の設置完了を目指す。													
	対象をどのような状態にしたいのか		指標名と説明														

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円					
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円		25,400	441,000	929,800	
		その他 ④	千円					
	一般財源 ⑤	千円		2,255	20,123	45,800		
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	0	27,655	461,123	975,600	0	
	人件費	人役						
		正規職員(7,990千円/年) ①	人役		0.08	0.08	0.08	
		再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
嘱託職員(2,168千円/年) ③		人役						
上記以外 ④		千円						
【B】(①×@7,990千円+②×@3,400千円+③×@2,168千円)	千円	0	638	638	638	0		
フルコスト【A】+【B】		千円	0	28,293	461,761	976,238	0	
活動実績	対象指標							
	① 学校数	校			26	36		
	② 学級数	教室			210	423		
	活動指標							
	① 空調設備の設置学校数	校			26	36		
	② 空調設備の設置教室数	教室			210	423		
成果指標								
① 空調設備の設置率	%			100.0	100.0			
② 児童生徒等が健康を保持して学習することのできる学校数	校			26	36			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・発注方法については、1 電気設備工事(受変電設備の改造・新設、分電盤の新設等)と、2 備品購入(空調機器の購入及び設置)に分けて発注を行う。 ・小学校の空調種別の決定 職員室・校長室等は既存空調方式を採用(電気式:27校、都市ガス・プロパンガス式:9校) ・全行程を7グループに分けて整備を行う。 							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・冬場のエアコン使用は乾燥を招き、風邪が流行する要因ともなるので、対策をしっかりと行ってほしい。 ・空調の効果は学校、校舎の向き、児童数などに差がある。そのことを踏まえた温度管理を行っていただきたい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備機器の調達及び設置を備品購入とすることで、事業費の削減を図った。 ・合併特例債及び過疎債を活用することで市負担の軽減を図った。
	A	
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・発注時期を分散化し、工事施工業者及び備品納入業者を確保 ・空調設置に伴う学校運営に支障をきたさぬよう、綿密な工程管理を行う。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校36校の整備 大規模校の物品は議案となる(7校) ・契約課、営繕課、教育総務課と協議・調整を行い発注時期の検討を行う。 ・平成30年度から普通教室の空調については、夏場だけでなく冬場も使用する(ストーブと併用)。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備を設置する普通教室は普段使用していることから、学校運営の支障が最小限となるよう、学校と協議しながら綿密な工程管理を行う。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・平日の作業時間:8時30分から17時まで ・土日・祝日の作業時間:8時から17時まで(大きな音の出る工事や、連続した2日間の停電作業、また学校行事等で平日の工事が出来ない場合)実施。

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度

平成29年度

整理番号	3	部課G名	教育部 学校施設課 施設G
点検項目	学校施設の耐震化	1次評価者	課長 福田伸雄
		作成年月日	平成30年4月13日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト <input type="checkbox"/> 地方創生関連			
	款	19 教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画 <input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画			
	項	小学校費(中学校費)		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画 <input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次	3次
	目	10 学校建設費					
	事業	小学校建設費(中学校建設費)					
事業類型	細事業	小学校建設事業(中学校建設事業)	事業開始年度	昭和22年度			
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの <input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	学校教育法(昭和22年3月31日法律第26条)第5条「学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定めのある場合を除いては、その学校の経費を負担する。」による。			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	小中学校施設				
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	・耐震性が確保されていない建物について、耐震補強工事及び建替工事を行う。 ・耐震補強工事により耐震化を図ることが出来る建物については、平成28年度で既に完了している。 ・平成29年度末現在、耐震化が図れていない建物は8校10棟となっている。				
		28年度	29年度	30年度	31年度
	和庄中体育館建設工事	解体撤去	解体撤去 建設工事	建設工事	
	東畑中校舎建設工事	建設工事	建設工事	改修工事 解体撤去	解体撤去
	片山中重層屋体建設工事		工事(改修・移設・解体・建設)	建設工事	
	横路小校舎建設工事		実施設計	仮設工事 解体撤去	解体撤去 建設工事
	安浦中体育館建設工事				実施設計
	和庄中校舎建設工事				仮設工事
	音戸中技術教室改修工事				工事(改修・移転・解体)
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他				
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	・学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、耐震化を進めその安全性を確保する。		(5) 成果指標 指標名と説明	・新たな統合方針計画を踏まえ、耐震化の早期完了を目指す。	

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円	769,248	142,488	147,753	143,490	315,971
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円	834,000	221,000	522,400	710,200	750,500
		その他 ④	千円					
	一般財源 ⑤	千円	59,825	10,981	66,887	220,821	198,509	
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	1,663,073	374,469	737,040	1,074,511	1,264,980	
	人件費	人役						
		正規職員(7,990千円/年) ①	人役	7.00	7.00	6.00	6.00	6.00
		再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
嘱託職員(2,168千円/年) ③		人役						
上記以外 ④		千円						
【B】(①×7,990千円+②×3,400千円+③×2,168千円)	千円	55,818	55,818	47,844	47,844	47,844		
フルコスト【A】+【B】		千円	1,718,891	430,287	784,884	1,122,355	1,312,824	
活動実績	対象指標							
	① 学校数	校	65	62	62	62	62	
	② 棟数	棟	242	236	237	235	236	
	活動指標							
	① 実施設計(改修工事含む)	棟	1	3	1	2	0	
	② 耐震補強工事・改築工事	棟	36	5	1	2	1	
成果指標								
① 耐震化率	%	92.4	94.5	95.7	96.2	97.4		
② 充実した教育環境が維持できている学校数	校	62	62	62	62	62		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・休校中の学校施設は含まない。 ・耐震性のある建物には、耐震診断の結果でA判定になった棟(Is値:0.6以上)を含む。 							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化完了の用途をしっかりと持ち取り組んでいただきたい。 ・耐震化された校舎であっても、建物内の設備(本棚など)の固定化など、しっかりと行っていただきたい。 ・また、震災の際には身を守るための適切な退避行動がとれるよう、日頃から訓練に取り組んでいただきたい。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金を活用し、教育施設の安全確保に一定の成果が得られている。 ・限られた学校敷地内において、現在地での建替えでなく、新たな場所での建設計画立案などにより、工事費の縮減を図った。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事による耐震化は平成28年度で終了したため、建替えによる耐震化のみが残っているが、仮設校舎の建設、校舎の解体・建設といった工程が必要となるため事業が複数年にわたり、事業費の増加が見込まれる。 ・耐震化完了目標である平成31年度末までの完了が困難な状況である。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・「呉市立学校統合基本方針」で、統合対象校として位置付けられている学校があるため、今後策定される新しい統廃合方針に沿って必要となる学校施設の耐震化を行う。 ・その他の6校8棟については、学校及び関係課と連携を図り、耐震化の早期完了を目指す。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択に向け国への要望を継続するとともに、実施設計の前倒しに取り組む。 ・学校と綿密な協議を行い、工事期間中の教室確保に努める。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールどおりに事業に取り組んでいくことができた。

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度	平成29年度
--------	--------

整理番号	4	部課G名	教育部 学校施設課 給食G
点検項目	中学校給食室の整備	1次評価者	課長 福田 伸雄
		作成年月日	平成30年4月27日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	■ 総合計画 重点プロジェクト			
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連			
	項	10	中学校費		■ 合併建設計画			
	目	10	学校建設費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画			
	事業	65	中学校建設費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画			
	細事業	27	安浦中学校建設事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次	3次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業開始年度				
	■ 国の法令・県条例により義務付けられているもの			実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	学校教育法, 学校給食法 学校給食衛生管理基準			
	■ 市任意事務							

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	安浦中学校給食室の整備						
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 給食室の建設・解体実施設計を実施 平成30年度 建設工事(S造平屋)の実施 厨房機器の整備(ドライシステム対応)を実施 平成31年度 現給食室解体・撤去工事(S造平屋)の実施 						
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他	
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	成長期の生徒の健康保持・増進及び心身の健全な発達に寄与するため, 安心安全な学校給食が提供できるよう, 給食施設の改善を図る。			(5) 成果指標 指標名と説明	平成30年度内に学校給食衛生管理基準に則した給食施設の整備完了を目指す。		

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円				20,524		
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円			5,100	115,400		
		その他 ④	千円						
	一般財源 ⑤	千円			348	6,516	6,690		
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円		0	0	5,448	142,440	6,690	
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役			0.10	0.30	0.05
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×@7,990千円+②×@3,400千円+③×@2,168千円)		千円		0	0	797	2,392	399	
		フルコスト【A】+【B】	千円	0	0	6,245	144,832	7,089	
活動実績	対象指標	① 生徒及び教職員	人			206 16	212 16	216 17	
		②							
	活動指標	① 実施設計(解体含む)	棟			1			
		② 建設工事・厨房機器整備	棟				1		
		③ 解体・撤去	棟					1	
	成果指標	① 事業進捗率(事業費ベース)	%			3.5	95.7	100.0	
②									
特記事項									

4 学識経験者の意見

<p>・自校調理場より、給食センターへ移行した方が効率的であるように思う。</p>

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な給食の提供 給食室ドライシステムに係る厨房機器購入計画(調書)作成により、事業費の削減を図った。 限られた学校敷地内において、体育館の建替えも計画されているなか、現在地での建替えでなく、新たな場所での建設計画立案により、継続した給食運営を可能とした。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・給食室は、築52年が経過し、老朽化が著しい施設であるため、「学校給食衛生管理基準」に即した運用が困難な状況となってきている。</p>	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<p>・平成30年度中に安浦中学校給食室建設及び厨房機器整備の完了</p>	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デリバリー給食の周知・説明に合わせて、学校給食への理解を深めるように努める。 ・契約満了に伴い、円滑な契約更新を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者との献立会議の実施し、立入検査を実施した。 ・試食会及び中学校入学説明会での周知を実施した。

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度	平成29年度
---------------	---------------

整理番号	5	部課G名	教育部 学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	小中一貫教育の推進	1次評価者	課長 高橋 伸治
		作成年月日	平成30年5月17日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	10	中学校費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	05	教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10	中学校教科等研修・研究費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
細事業	12	小中一貫教育推進事業外3事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次	3次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業開始年度	平成19年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			実施根拠(法令、条例、個別計画等)	学習指導要領 呉市小中一貫教育研究事業等補助金交付要綱 小中一貫教育推進加配講師措置要領		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務						

2 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員						
誰・何を対象に							
(2) 事業概要 (事業内容)	<p>1 小中一貫教育推進加配講師の配置</p> <p>(1) 中学校区内の小学校5・6年生の合計学級数が原則7以上となる中学校に非常勤講師を配置し、乗り入れ授業が行えるようにした。</p> <p>(2) 英語が話せる子どもの育成事業モデル校に非常勤講師を配置し、小学校の外国語教育の研究を推進するとともに、中学校への円滑な接続を図った。</p> <p>2 小中一貫教育研究指定事業の実施（平成19年度～）</p> <p>小中一貫教育の実践的研究を行うため、中学校区を指定し補助金を交付した。指定中学校区による公開研究発表会を開催した。</p> <p style="padding-left: 20px;">平成29年度実施：広南中学校区、東畑中学校区、警固屋中学校区、吉浦中学校区</p> <p>3 教職員の資質向上に向けた研修会の実施</p> <p>(1) 小中一貫教育推進コーディネーター研修会の実施（平成19年度～）</p> <p>中学校区で設定した資質・能力の育成に向け、組織的に取組を進めるための視点と手法を学ばせるため、外部有識者を招聘して1回実施した。</p> <p>(2) ブロック別学校経営研修会</p> <p>小中一貫教育の一層の充実を図るため、会場校による取組提案や授業参観を踏まえ、管理職が合同で協議等を行う研修を年2回実施した。</p> <p>(3) 呉市「学びの変革」推進研修会</p> <p>各中学校区における資質・能力の育成の具現化に向け、カリキュラムマップに基づいた教育活動の展開等を学ばせるための研修を年2回実施した。</p>						
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他						
(4) 意図・目的	義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性を育成する。			(5) 成果指標	① 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果における県平均との差(小学校5年生時と中学校2年生時)の推移 ※県平均を0とする ② 全国学力・学習状況調査結果の全国平均との差 ③ 中学生の暴力行為発生件数, 中学生のいじめ認知件数, 中学生の不登校生徒数 <input type="checkbox"/>		
対象をどのような状態にしたのか				指標名と説明			

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円	13,206	14,855	16,780	12,000	12,000	
		県支出金 ②	千円	400	405	0	0	0	
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円	126	126	101	76	76	
	一般財源 ⑤	千円	17,963	16,999	15,660	20,538	20,538		
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	31,695	32,385	32,541	32,614	32,614
	人件費	人役							
		正規職員(7,990千円/年) ①	人役		6.79	6.79	5.78	5.78	5.78
		再任用職員(3,400千円/年) ②	人役						
嘱託職員(2,168千円/年) ③		人役							
上記以外 ④		千円							
【B】(①×⑦,990千円+②×③,400千円+③×②,168千円)			千円	54,252	54,252	46,182	46,182	46,182	
フルコスト【A】+【B】			千円	85,947	86,637	78,723	78,796	78,796	
活動実績	対象指標	①	呉市立小学校児童数(基準日5/1)	人	10,754	10,648	10,570	10,435	—
			呉市立中学校生徒数(基準日5/1)	人	5,494	5,387	5,128	5,091	—
		②	呉市立小学校教職員数	人	712	673	673	—	—
			呉市立中学校教職員数	人	461	460	443	—	—
	活動指標	①	研究指定校数	校	9	12	8	8	9
		②	小中一貫教育研究会開催数	回	3	6	4	4	4
	成果指標	①	広島県「基礎・基本」定着状況調査(小5→中2の推移)	ポイント	国 0.0 算・数-1.4	国 0.7 算・数 1.3	国 0.7 算・数 1.3	—	—
			全国学力・学習調査結果全国平均値との差(小学校国語, 中学校国語)	ポイント	小 11.2 中 4.1	小 11.8 中 5.8	小 4.7 中 3.4	—	—
		②	全国学力・学習調査結果全国平均値との差(小学校算数, 中学校数学)	ポイント	小 6.6 中 5.1	小 5.7 中 5.2	小 4.5 中 3.3	—	—
			中学生の暴力行為発生件数	件	47	53	37	—	—
		③	中学生のいじめ認知件数	件	55	61	83	—	—
			中学生の不登校生徒数	人数	104	107	110	—	—
		特記事項	H27及び28の県支出金は、学力向上チャレンジ校事業に対する委託金である。						

4 学識経験者の意見

- ・加配講師を配置して運営しているが、全国的にも教員不足が課題となっているので、教員の確保に向けて努力していただきたい。
- ・カリキュラムマネジメントを改定・改善しながら、教科等間のつながりのある授業の実践を進めてほしい。
- ・小中一貫教育を進める中で、小中それぞれの先生がより一層の意識統一を図って取り組んでほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果	
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育研究指定事業等により研究・実践が進み、全国学力・学習状況調査において、平成25年度以降、全ての教科で全国平均を上回っていき、学力が向上したことを検証できた。 ・各研修会や研究指定事業等を活用し、「カリキュラム・マネジメントの充実」に向けた理論研修や取組の実際の普及を進め、各中学校区で作成したカリキュラムマップの活用を促進するための事例集をまとめた。 ・英語が話せる子どもの育成事業モデル校で、小学校段階からの英語教育についての研究実践を進め、授業公開を実施した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生のいじめ認知件数及び不登校生徒数が増加傾向にある。落ち着いた学習環境づくりを継続するとともに、個に応じた指導の更なる充実を図る。 ・教科等間のつながりを意識した授業の実践が進みにくい。資質・能力の育成を目指し、「課題発見・解決学習」を取り入れた授業改善を進めるとともに、カリキュラムマップに基づいた実践を進める。 ・新学習指導要領の全面実施に向け、小学校における外国語科の指導方法や指導体制を確立する。
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)		<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握に基づき指導方法を工夫し、安心して学習できる場を整備し、個に応じた指導の充実を図る。 ・各中学校区で設定した育成を目指す資質・能力の具体的な姿をより明確にさせ、各授業に位置付け具現化した実践を進める。また、カリキュラムマップに基づいた実践の在り方や、教科等間のつながりを意識したり、「課題発見・解決学習」を取り入れたりした授業改善の視点を理解させるための研修会を実施する。(全ての学校でカリキュラムマップに基づいた学習指導案を学校HPに掲載することを目指す。) ・新学習指導要領の全面実施に向け、小学校における外国語科の指導方法等についての研修を実施する。

振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要)	昨年度の方向性に対する取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の充実と分かる授業づくり ・資質・能力の育成に向けたカリキュラムマップの作成 ・小学校における英語指導力向上に向けた取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会や学校訪問等で、個別指導の在り方や分かる授業づくりについて指導助言を行った。 ・カリキュラム・マネジメントに係る研修等により、「資質・能力」の育成に向けてカリキュラムマップを作成し、実践事例集としてまとめ市内全校に配付した。 ・新学習指導要領に対応した外国語活動の年間指導計画等を作成し、全小学校に配付するとともに、それらの活用に向け、研修会を実施した。

平成30年度点検・評価シート

		評価対象年度	平成29年度
整理番号	6	部課G名	教育部 学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	文化・芸術体験活動の推進	1次評価者	課長 高橋 伸治
		作成年月日	平成30年5月17日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	■ 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	05 小学校費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	05 教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	11 小学校児童指導・行事費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	10 小学校文化行事事業 外1事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	昭和28年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	学習指導要領		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小・中学校の児童生徒					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 和洋音楽ふれあい事業</p> <p>(1) 目的 我が国の伝統的な音楽や世界各国の音楽に触れることにより、音楽的感性を育てる。</p> <p>(2) 内容 オーケストラ鑑賞教室…広島交響楽団による演奏の鑑賞(小5, 36校) 洋楽鑑賞会…ピアノ、バイオリン等の鑑賞(20校) 邦楽鑑賞会…琴、三味線、尺八等の鑑賞(小5・小6, 18校) 連合音楽会…各校による合唱曲の披露及び鑑賞(小18校) 中学校吹奏楽クリニック(18校) 呉市立中学校夏の演奏会(19校)</p> <p>2 美術作品ふれあい事業(全小学校が参加)</p> <p>(1) 目的 呉市立美術館と蘭島閣美術館の美術作品に触れさせることにより、美術的感性を育てる。</p> <p>(2) 内容 呉市立美術館での美術作品の鑑賞(小4, 36校) 蘭島閣美術館等での美術作品の鑑賞(小6, 36校)</p> <p>3 ふるさと文化探訪事業(全小学校が参加)</p> <p>(1) 目的 「日本遺産」の構成文化財がある入船山記念館や大和ミュージアム、また国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている御手洗地区を訪ねることで、呉市の文化と歴史を知り、郷土呉市を愛する心を育てる。</p> <p>(2) 内容 入船山記念館見学(小4, 36校) 大和ミュージアム館内の見学(小5, 36校) 御手洗町並み保存地区の見学(小6, 36校)</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化・芸術に触れる体験をさせることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てる。		(5) 成果指標 指標名と説明	① 連合音楽会実施率 ② 大和ミュージアム見学実施率 ③ 美術作品ふれあい事業、ふるさと文化探訪事業実施率		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円						
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円	3,300	3,200	3,100	3,400	3,400	
		その他 ④	千円						
	一般財源 ⑤	千円	9,264	8,415	8,102	8,463	8,463		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	12,564	11,615	11,202	12,870	12,870	
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	1.81	1.81	2.36	2.36	2.36
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×⑦,990千円+②×③,400千円+③×②,168千円)		千円	14,462	14,462	18,856	18,856	18,856		
フルコスト【A】+【B】		千円	27,026	26,077	30,058	31,726	31,726		
活動実績	対象指標	①【連合音楽会】【大和M】小学校数	校	39	36	36	36	36	
		②【美術作品ふれあい】【ふるさと文化探訪】対象人数(4,6年生)	人	3,678	3,460	3,581	3,455	3,570	
	活動指標	①【連合音楽会】実施校	校	19	18	18	18	0	
		②【大和M】見学実施校	校	39	36	36	36	36	
		③【美術作品ふれあい】【ふるさと文化探訪】対象人数(4,6年生)	人	3,678	3,460	3,581	3,455	3,570	
	成果指標	①【連合音楽会】実施率	%	49	50	50	—	—	
		②【大和M】実施率	%	100	100	100	—	—	
		③【美術作品ふれあい】【ふるさと文化探訪】実施率	%	100	100	100	—	—	
	特記事項								

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・昔と比べて、絵を描く又は作品を創る機会が減っていると感じる。全員は無理でも、意欲のある子どもを積極的に展覧会に出品させるなどして、小学校のうちに感性を磨くことに取り組んでほしい。 ・(大和ミュージアム見学について)事前指導は非常に大切なので、ワークシートだけに頼り切らない事前指導の充実に取り組んでいただきたい。 ・連合音楽会に参加したクラスの子どもは、これを機会としてすごく伸びる。31年度からの実施を検討されている新たな音楽プログラムにも子ども力が伸びるように是非、取り組んでいただきたい。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<p>ア 日本の伝統音楽に対する理解が深まり、音楽に対する関心意欲と技能が向上した。</p> <p>イ 小学校6年生を対象にした美術作品ふれあい事業やふるさと文化探訪事業においては、ワークショップ型の鑑賞を取り入れることで、児童が主体的に鑑賞することができた。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>○大和ミュージアムの見学については、事前指導が十分できていない学校があるため、大和ミュージアムと連携し、事前指導に活用するワークシート(児童用、指導者用)を全小学校に配付する。</p> <p>○各学校の連合音楽会への参加は隔年で、主に学級単位での参加であることから、体験できる児童が限られている。対象児童を広げ、より主体的な参加ができる音楽会の開催を検討する。</p>	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<p>○大和ミュージアムの見学については、これまで3コースの体験学習を準備していたが、児童・指導者対象の学習後のアンケート結果を基に体験学習の内容を見直し、2コースに精選していく。</p> <p>○平成31年度から、オーケストラ鑑賞教室と連合音楽会の2つの事業を一本化し、呉市内の全5年生を対象として、主体的な学びを進めることができる音楽プログラムを作成し、授業と音楽会が連動する事業実施を検討していく。</p>	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <p>学校訪問や教科部会等において、各事業に係る内容や効果を啓発したり、教科等の年間指導計画等に位置付けたりするよう、指導助言を行う。</p>	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <p>学校訪問や教科部会等で、各事業の効果や市内の学校の取組等を紹介することで、事前事後の指導を充実させることにつながってきている。</p> <p>「呉の歴史絵本」については、年間計画に位置付けることができた。</p>

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度 **平成29年度**

整理番号	7	部課G名	教育部 学校安全課 生徒指導グループ
点検項目	特別支援教育の推進	1次評価者	課長 棚田 隆志
		作成年月日	平成30年5月11日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	01	教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	10	教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10	教育指導費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	11	特別支援教育推進事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度				
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)		・呉市就学指導委員会規則 ・特別支援教育相談員設置要綱 ・特別支援学級指導員派遣要綱 ・学校教育指導補助員派遣要綱		
	■ 市任意事務						

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒						
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 特別支援学級支援員の配置						
	(1) 特別支援学級指導員: 特別支援学級における児童生徒の指導の援助						
	(2) 学校教育指導補助員: 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の指導の援助						
		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		人数	派遣校	人数	派遣校	人数	派遣校
	特別支援学級指導員	51人	29校	51人	27校	51人	26校
	学校教育指導補助員	52人	32校	52人	34校	52人	30校
	2 教職員の指導力向上及び特別支援教育推進のための環境・体制づくり						
	(1) 専門家の巡回相談による校内研修の実施						
		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	39校	96回	37校	67回	40校	81回	
(2) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組を全ての小中学校で実施							
3 就学指導の充実に向けた取組							
(1) 就学相談を受けた就学前児童数							
(()内は就学指導方針と異なる就学先を決定した児童の割合)							
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	106人(11%)	59人(10%)	79人(4%)				
(2) 呉市ホームページや就学相談案内の配付等による積極的な周知・働き掛け							
(3) 市内全保育所・幼稚園との連携した丁寧な就学相談や就学指導の実施							
4 保幼小中連携の充実に向けた取組							
(1) 呉市保幼小連携に関する代表者会・作業部会の実施							
(2) 保幼小中合同研修会の実施							
(3) 円滑な保幼小中連携に向けた呉市版「個別の教育支援計画」様式の作成							
(3) 実施方法	■ 直接実施		<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	・障害のある児童生徒の自立や社会参画につなげるため、個々の実態に応じて適切な指導及び必要な支援を行う。 ・教職員の指導力を向上する。			(5) 成果指標 指標名と説明		①特別支援学級指導員の必要人数に対する配置人数 ②学校教育指導補助員の必要人数に対する配置人数	

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	51,548	56,882	61,914	75,000	75,000
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円						
		その他 ④	千円	697	561	422	442	442	
		一般財源 ⑤	千円	109,826	101,213	98,177	90,450	90,450	
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	162,071	158,656	160,513	165,892	165,892
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】(①×⑦,990千円+②×③,400千円+③×②,168千円)			千円	9,588	9,588	9,588	9,588	9,588	
フルコスト【A】+【B】			千円	171,659	168,244	170,101	175,480	175,480	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数(児童数)	人	16,248 (10,754)	16,019 (10,632)	15,698 (10,570)	15,526 (10,435)	15,453 (10,450)	
		② 特別支援学級在籍児童生徒数(児童数)	人	334 (220)	345 (239)	358 (247)	373 (278)	—	
		③ 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒数(児童数)	人	304 (183)	330 (185)	371 (228)	391 (252)	—	
	活動指標	① 特別支援学級指導員配置数	人	51	51	51	51	—	
		② 学校教育指導補助員配置数	人	52	52	52	58	—	
		③ 特別支援教育相談員配置数	人	1	1	1	1	—	
		④ 巡回相談実施件数	件	91	67	81	80	—	
	成果指標	① 特別支援学級指導員の配置人数/必要人数	人	51/51	51/51	51/51	51/51	—	
		② 学校教育指導補助員の配置人数/必要人数	人	52/52	52/52	52/52	58/58	—	
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費には、特別支援学級指導員、特別支援教育相談員及び学校教育指導補助員の報酬を含む。 ・財源内訳の①「国庫支出金」は、特定防衛施設周辺整備調整交付金(平成24年度から) 							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級において、先生が替わった際に、子どもと保護者が戸惑うことがある。引継時の情報共有や、教え方のラインの統一をお願いする。 ・特別支援学級に通級させるか否かは保護者にとって重い判断となる。特別支援について学べる場や相談できる場、同じ悩みを持つ保護者同士が情報交換できる場の設置について検討していただきたい。 ・個別の教育支援計画の統一様式を定めたことは一歩前進したと考えている。この統一様式を有効活用して、必要なことをきちんと引き継いで、子どもの支援に生かしていただきたい。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級指導員、学校教育補助員を学校の実態に応じて配置することができた。 ・保幼小中連携の充実に向けた合同研修の開催や「個別の教育支援計画」の統一様式を作成することができた。 ・教育相談や教育相談後における継続的な就学指導により就学指導の充実も図られた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害を始めとする特別支援教育に関する教職員の指導力を更に向上させる必要がある。 ・関係機関等との連携を基に、特別支援教育の充実や効果的な保幼小連携に向けた具体的な取組を継続的に行っていく。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の一層の指導力向上を図り、学校全体で特別支援教育を推進するための効果的な研修を実施する。 ・個々の実態に応じた支援が保幼小中で継続的に行えるよう、様式を統一した「個別の教育支援計画」の効果的な活用や研修会の充実を図る。 	

振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に係る教職員の指導力・対応力の向上を図るための研修会を充実し、各学校における落ち着いた学習環境づくりの推進に努める。 ・引き続き、関係機関等との連携をより一層強化し、丁寧な就学指導に努める。 ・「呉市幼児教育振興計画」に基づく保幼小連携や関係機関等との連携を継続するとともに、保幼小合同研修の実施や小学校入学前からの情報共有などにより特別支援教育の充実を努める。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談等を積極的に利用し、教職員の指導力向上を目指して、学校全体で特別支援教育を推進するための研修を実施している。 ・学校教育指導補助員の適正な配置を行い、実状把握を基にした増員した。 ・保幼小中合同の研修会を実施するとともに、保幼小中の円滑な連携に向けて「個別の教育支援計画」の様式を統一した。
--------	--	---

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度 **平成29年度**

整理番号	8	部課G名	教育部 学校安全課 生徒指導グループ
点検項目	生徒指導の充実	1次評価者	課長 榎田 隆志
		作成年月日	平成30年5月11日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計		総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト				
	款	19	教育費			<input type="checkbox"/> 地方創生関連				
	項	01	教育総務費			<input type="checkbox"/> 合併建設計画				
	目	10	教育指導費			<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画				
	事業	10	教育指導費	12		適応指導費	<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画			
	細事業	30	生徒指導推進事業	10		児童生徒適応指導事業	<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次			
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務				事業開始年度	昭和37年度				
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの				実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	生徒指導員派遣要綱, 生徒指導アドバイザー運営要綱 呉市自立支援サポート委員会設置要綱 呉市いじめ問題調査委員会条例, 学校法律相談実施要綱 呉市スクールサポーター活用事業運用要綱				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務									

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中高等学校の児童生徒			
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 問題行動が起こりにくい落ち着いた環境づくり (1) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組の推進と徹底			
	2 いじめの未然防止, 早期発見・早期対応のための生徒指導体制づくり (1) いじめアンケートや個人面談等を通じた情報把握及び情報共有を基にした学校体制による早期対応の徹底 (2) 「いじめ撲滅キャンペーン」(年間2回)や「いじめ撲滅プロジェクトチーム」研究大会, 「いじめ撲滅標語コンクール」の実施 (3) 「呉市自立支援サポート委員会」(年間2回)におけるいじめを未然防止する取組に係る協議			
	3 問題行動の未然防止に向けた取組			
	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	64	76	86
	メンタルフレンド派遣回数(回)	75	90	50
	スクールサポーター派遣校における暴力行為減少率: 前年比(%)	23.1	21.7	85.7
	<生徒指導上の諸問題の状況> (小中合計)			
	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	暴力行為発生件数(件)	64	69	53
	いじめ認知件数(件)	133	184	270
	不登校児童生徒数(人)	134	144	153
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他			
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	一人一人の児童生徒の個性の伸長を図るとともに, 自己指導能力及び社会的な資質や能力, 態度を育成する。			
	(5) 成果指標 指標名と説明	①暴力行為発生件数 ②いじめ認知件数 ③不登校児童生徒数		

3 投入資源・活動実績

区分			単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	0	0	700	11,700	11,700
			県支出金 ②	千円	331	0	330	700	700
			地方債 ③	千円					
			その他 ④	千円	129	120	83	73	73
			一般財源 ⑤	千円	42,719	43,282	42,834	26,305	26,305
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	43,179	43,402	43,947	38,778	38,778
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	4.50	3.80	3.80	3.80	3.80
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】(①×@7,990千円+②×@3,400千円+③×@2,168千円)			千円	35,955	30,362	30,362	30,362	30,362	
フルコスト【A】+【B】			千円	79,134	73,764	74,309	69,140	69,140	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	16,248	16,019	15,698	15,526	15,453	
		②							
	活動指標	① 呉市スクールカウンセラーの派遣回数	回	64	76	86	76	—	
		② メンタルフレンド年間派遣回数	回	75	90	50	71	—	
		③ スクールサポーター派遣校における暴力行為減少率(前年比)	%	23	22	86	—	—	
	成果指標	① 暴力行為発生件数	件	64	69	53	—	—	
		② いじめ認知件数	件	133	184	270	—	—	
		③ 不登校児童生徒数	人	134	144	153	—	—	
	特記事項								

4 学識経験者の意見

<p>・今後は、これまでの学校の指導文化の見直しが求められてくる。これまで、校内で蓄積してきた生徒指導上の知識や技術が、今の時代に合っているのか検証し、見直していく必要があるのではないかと考えている。</p> <p>・学校、PTA、地域が互いに子どもの様子をしっかりと把握して、連携して取り組むことが大事である。</p> <p>・ここ10年で、保護者や子どもの質はずいぶん変わってきた。先生においても、指導力を発揮しきれない先生の割合が増えてきたと感じる。外部の人の助力を得ることも大切だが、先生の指導力の底上げを図ることも大切である。また、活動指標もそうした取組が測れるものとしたほうが良い。</p>

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <p>・呉市全体で「呉市のスタンダード」の取組を通して、児童生徒が集中できる学習環境づくりを推進した。</p> <p>・いじめ撲滅キャンペーンやいじめ撲滅プロジェクトチーム等の取組を通して、学校体制でいじめを積極的に認知し、いじめの早期発見、早期対応を図った。</p> <p>・落ち着いた学習環境づくりやスクールサポーターの派遣等により暴力行為が減少した。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・いじめ等の問題行動に係る情報共有や指導方針の徹底を図り、学校全体で問題行動の再発防止や未然防止に取り組む生徒指導体制を確立する。</p> <p>・不登校児童生徒数が増加傾向にあり、カウンセリング等による早期対応が必要がある。</p>
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<p>・引き続きいじめを積極的に認知し早期対応を図るとともに、いじめ等の問題行動について「いじめ防止基本方針」や「生徒指導規程」に基づいた丁寧かつ確実な対応を行う。</p> <p>・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の効果的な派遣を継続し、暴力行為や不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期対応に努める。</p>
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <p>・スクールサポーターやスクールソーシャルワーカー等の効果的な派遣を通して、警察等関係機関との連携を強化し、協働して問題行動の未然防止に努める。</p> <p>・落ちついた学校環境づくりを徹底・継続するとともに、特別支援教育の視点に立った指導や児童生徒の心に寄り添う指導の充実に努める。</p> <p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <p>・警察等関係機関と連携し、スクールサポーターやスクールソーシャルワーカー等を学校の実情に応じて派遣した。</p> <p>・「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子)」の取組の推進と徹底を図るとともに、生徒指導規程やいじめ防止基本方針に基づいた取組を推進した。</p>

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度 **平成29年度**

整理番号	9	部課G名	教育部 学校安全課 保健体育グループ
点検項目	安全対策の推進	1次評価者	課長 栩田 隆志
		作成年月日	平成30年5月11日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	08 学校安全推進事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度			
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	・呉の子どもを守る会議設定要綱・呉市小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中学校の児童生徒					
誰・何を対象に						
(2) 事業概要 (事業内容)	1 登下校の安全対策					
手段・方法・年次計画など	(1) 「呉子ども交通安全推進隊」による活動の実施(全小学校で年7回以上)					
	(2) 「交通安全教室」(全小・中学校)及び小学校入学前の交通安全指導の実施(全小学校)					
	(3) 通学路の危険箇所の改善要望に対する対応					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	要望箇所(件)	20	18	11		
	合同点検回数(回)【実施率】	20【100%】	18【100%】	11【100%】		
	改善件数(件)	14	8	3		
	〈交通事故発生件数〉【 】は登下校中の発生件数					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	小学校(件)	18【6】	10【6】	13【6】		
	中学校(件)	4【1】	3【3】	2【1】		
	合計(件)	22【7】	12【9】	15【7】		
	2 防災対策					
	(1) 「地震・津波災害対応マニュアル」の改善及び地域と連携した防災訓練の実施 〈防災・防犯訓練実施状況〉					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	合計(回)【実施校数】	199【全65校】	191【全62校】	185【全62校】		
	(2) 全校での実践を通じた「呉市防災教育のための手引き」及び「土砂災害対応マニュアル」最終案の作成					
	3 安全対策に係る情報発信 〈学校メール配信システムの運用状況〉 ()内は登録率					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	登録件数(件)	25,023	28,048	20,546		
	保護者登録件数(件)	16,448(98%)	17,637(107%)	13,154(81.3%)		
	地域・教職員等登録件数(件)	8,575	10,411	7,392		
	発信回数(回)	2,268	2,867	1,957		
	※「学校メール配信システム」の遅延が発生したため、不達の配信先を削除したことによって登録件数が減少した。					
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的	・児童生徒が「自らの命は自らが守る」ための知識や実践力の育成を図る。 ・「不審者情報」や「防災・災害情報」等の配信により、児童生徒の安全を確保する。		(5) 成果指標		①交通事故発生件数 ②通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数 ③公立学校メール配信システムの発信件数	
対象をどのような状態にしたのか			指標名と説明			

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円					
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円					
			その他 ④	千円	1,000				
			一般財源 ⑤	千円	6,155	2,587	3,198	2,835	2,835
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	7,155	2,587	3,198	2,835	2,835
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】(①×@7,990千円+②×@3,400千円+③×@2,168千円)			千円	10,387	10,387	10,387	10,387	10,387	
フルコスト【A】+【B】			千円	17,542	12,974	13,585	13,222	13,222	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	16,248	16,019	15,698	15,526	15,453	
		② 通学路の危険箇所数	箇所	249	240	261	—	—	
	活動指標	① 安全指導実施回数	回	1,159	1,042	2,383	—	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望件数	件	19	18	11	—	—	
		③ 学校メール配信システムの登録件数	件	25,023	28,048	20,546	—	—	
	成果指標	① 交通事故発生件数	件	23	14	18	—	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数	件	20	8	3	—	—	
		③ 学校メール配信システムの発信件数	件	2,268	2,867	1,957	—	—	
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・財源内訳の④「その他」は、広島県市町村振興協会助成金 ・活動指標の①「安全指導実施回数」は、「交通安全教室」「防災訓練」「非行防止教室」の実施回数の合計 ・活動指標の①安全指導内の「非行防止教室」の調査方法を平成29年度に変更 							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・危ないと感じる通学路があれば、そこを通らないルートを設定することが大事なのではないか。 ・子どものためなので、安全な道がなければ直してもらいべき。 ・学校内外のハード面の安全対策とともに、ソフト面の取組み(安全マップ、防災・防犯意識の向上など)が大切である。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果 <div style="font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の改善対策を組織的・計画的に推進した。 ・防災教育の充実に向けて「防災教育のための手引き」及び「土砂災害対応マニュアル」を作成した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の改善対策とともに、交通事故の減少に引き続き取り組む必要がある。 ・「呉市防災教育のための手引き」及び「土砂災害対応マニュアル」については、平成30年7月の豪雨災害を受け、各学校の実情に応じた活用を図る必要がある。 ・「学校メール配信システム」の改善に取り組むとともに、メール配信システムを最大限に活用する必要がある。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を継続して推進するとともに、交通安全指導の徹底を図る。 ・各学校の実情に応じた「呉市防災教育のための手引き」の実践交流や「土砂災害対応マニュアル」による防災訓練等を通して、防災教育の充実を図る。 ・迅速かつ確実に届く「学校メール配信システム」への改善を図るとともに、登録者数を増やし効率的な情報発信を通してより一層の活用を図る。 	

振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と連携を図り、通学路の改善対策を計画的に進めるとともに、警察署や交通安全協会等の協力し、交通安全指導の内容を工夫し、指導の徹底を図る。 ・「呉市防災教育のための手引き」2次案を生かした各学校での実践を集約し、検証を通して最終案を作成する。 ・「学校メール配信システム」への登録件数をさらに増やし、学校からの積極的な情報発信を通して一層の活用を図る。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室を実施し、交通ルールについての指導を継続した。 ・「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の改善対策に向けて関係機関との連携を強化した。 ・「呉市防災教育のための手引き」及び「土砂災害等対応マニュアル」の最終案を作成した。 ・「学校メール配信システム」への登録呼び掛けについて、保護者や地域等の学校関係者に対して、機会を捉えた周知・啓発を行うよう指導を行った。
--------	--	---

平成30年度点検・評価シート

		評価対象年度	平成29年度
整理番号	10	部課G名	文化スポーツ部 文化振興課 社会教育G
点検項目	青少年健全育成事業の推進	1次評価者	課長 多田 博
		作成年月日	平成30年5月11日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト		
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連		
	項	20 社会教育費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画		
	目	05 社会教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画		
	事業	22 青少年育成費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画		
	細事業	10 青少年育成事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画	1次	2次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	昭和30年度		
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	地方青少年問題協議会法 呉市青少年問題協議会設置条例 呉市青少年問題基本対策要綱		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	市民, 青少年一般					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 成人式					
	(1) 平成21年度統一開催から地域開催へ移行 (2) 各地区に地域成人式補助金を交付(H29 補助金額 4,000千円 18地区に交付) (3) はたちのパスポート(H28から海自カレー販売店に協力依頼) (4) 各地域で特色ある記念行事や恩師を交えた同窓会などを開催 (5) 成人式の参加率等の推移					
	年 度	平成20年度	平成28年度	平成29年度		
	開催方法	統一開催	地域開催	地域開催		
	成人者数	2,453人	2,311人	2,251人		
	参加者数	1,255人	1,786人	1,648人		
	参加率	51.2%	77.3%	73.2%		
	2 青少年の善行等の表彰					
	(1) 善行青少年表彰: 優れた行為のあった満25歳未満の青少年					
	(2) 優良青少年団体表彰: 優れた活動によって他の模範となっている青少年団体					
	(3) 青少年健全育成功労者表彰: 青少年の健全育成に顕著な功績があった者					
	(4) 表彰件数の推移					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	善行青少年表彰		1件	1件		
	優良青少年団体表彰		2件			
	青少年健全育成功労者表彰	4件	5件	7件		
	合 計	4件	8件	8件		
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他					
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	地域成人式や青少年の善行等の表彰などの各種事業を, 地域を始めとする各関係団体や関係機関と協力・連携しながら実施することで, 青少年の健全育成を推進する。			(5) 成果指標 指標名と説明	成人式出席者数・参加率 青少年善行表彰件数	

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円					
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円					
			その他 ④	千円	2,000	2,000	3,000		
			一般財源 ⑤	千円	3,108	2,804	1,695	4,898	
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	5,108	4,804	4,695	4,898	4,898
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役					
			上記以外 ④	千円					
【B】(①×⑦,990千円+②×③,400千円+③×②,168千円)			千円	2,397	2,397	2,397	2,397	2,397	
フルコスト【A】+【B】			千円	7,505	7,201	7,092	7,295	7,295	
活動実績	対象指標	① 呉市の4月末の住民基本台帳(外国人含む)の人数	人	234,697	232,393	229,735	226,793	226,793	
	活動指標	① 成人式	回	18	18	18	18	18	
	成果指標	① 成人式出席者数(上段:対象者,下段:参加者)	人	2,231 1,677	2,311 1,786	2,251 1,648	2,300 1,840	2,300 1,840	
		② 成人式参加率	%	75.2	77.3	73.2	80.0	80.0	
③ 青少年善行等の表彰件数		件	4	8	8	8	8		
特記事項	・正規職員の人役には、地域開催成人式に関わる地域協働課、各市民センター職員の人役は含めず。								

4 学識経験者の意見

- ・成人式については、いわゆる18歳成人への対応を今から考えておく必要がある。
- ・成人式は、地域ごとに特徴があり、非常にいいものになっている。
- ・青少年の善行等の表彰は、表彰の対象になる善行がもっとあるのではないかと。しっかりと取り組んでほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果	○平成21年度より地域分散開催としている成人式については、各地域(倉橋・仁方・中央)で実行委員会が立ち上がるなど、着実に地域に根付いてきている。 ○青少年の善行等の表彰についても、表彰式を本庁1階において一般公開するなど、制度の更なる周知を図っている。また、全国表彰への推薦も行い、1団体が表彰されることとなった。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	1 成人式 ・参加率の更なる向上や、式を通じた地域住民と新成人の更なる交流の仕組みづくりが課題であり、今後も各地区の特色を生かした魅力ある成人式の開催を働き掛けていく。 2 青少年の善行等の表彰 ・善行表彰制度の更なる周知や、推薦件数を増加していくことが課題であり、引き続き効果的な広報を行っていくことや、表彰式の内容についても更なる検討を図っていく。	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	1 成人式 ・今後も地域主導での運営を継続していき、地域と新成人のきずなが深まる、特色を生かした魅力ある成人式の開催に努める。 2 青少年の善行等の表彰 ・推薦件数の増加とともに、全国表彰への推薦を積極的に行うなど、市民の励みになるよう更なる広報を行います。	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) 1 成人式 ・地域と新成人のきずなが深まる、特色を生かした魅力ある成人式の開催に努めます。 2 青少年の善行等の表彰 ・推薦件数の増加とともに、市民の励みになるような積極的な広報を行います。	昨年度の方向性に対する取組状況 1 成人式 ・引き続き地域主導で運営することにより、特色ある成人式にできるよう働き掛けを行っている。 2 青少年の善行等の表彰 ・広く市民にPRできるよう、表彰式は本庁1階で一般公開して行うこととした。

平成30年度点検・評価シート

評価対象年度	平成29年度
--------	--------

整理番号	11	部課G名	文化スポーツ部 文化振興課 文化G
点検項目	文化財の活用と管理	1次評価者	課長 多田 博
		作成年月日	平成30年5月11日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト <input type="checkbox"/> 地方創生関連 <input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画 <input checked="" type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画 <input checked="" type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 3次		
	款	19 教育費				
	項	20 社会教育費				
	目	05 社会教育振興費				
	事業	20 文化財保護費				
	細事業	文化財保護事業他 3 事業				
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの <input type="checkbox"/> 市任意事務		事業開始年度	昭和30年度		
			実施根拠(法令、条例、個別計画等)	<small>・文化財保護法 ・広島県文化財保護条例 ・呉市文化財保護条例 ・呉市文化財保護条例施行規則 ・呉市伝統的建造物群保存地区保存条例 ・呉市御手洗地区文化施設条例 ・呉市御手洗地区文化施設条例施行規則</small>		

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	市民、文化財所有者、開発事業者(埋蔵文化財関係)、呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内建造物等、御手洗伝統的建造物群保存地区を訪れる人々及び地区住民																
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	呉市内の指定・登録文化財数は、平成29年度末で155件であり、当課が所管する文化財の管理・活用として、次の事業を実施した。 1 旧澤原家住宅(国重要文化財)公開事業により、地域の生きた歴史として活用した。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開実施回数</td> <td>7回</td> <td>8回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>公開参加人数</td> <td>176人</td> <td>157人</td> <td>180人</td> </tr> </tbody> </table>		項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	公開実施回数	7回	8回	7回	公開参加人数	176人	157人	180人	2 豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内にある建物の修理・修景事業に対して補助を行い、歴史的町並みの保存を図った。		
項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度														
公開実施回数	7回	8回	7回														
公開参加人数	176人	157人	180人														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修理・修景件数</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	修理・修景件数	2件	2件	2件	3 旧金子家住宅(市有形文化財)は、文化財部分の復原修理が完了し、平成30年度は、公開活用に向けた附属施設の整備を実施していく。 4 所有者変更に伴い国指定の重要文化財が2件加わり8件となった。(H29.2.10) 5 平成29年10月31日に朝鮮通信使関連資料がユネスコ「世界の記憶」に登録され、各市民センターなどに横断幕や誘導看板を設置し、情報発信に努めた。 6 旧軍港四市(横須賀市・呉市・佐世保市・舞鶴市)で認定されている日本遺産の魅力発信事業として4市合同で行った日本遺産WEEKにより、海上保安大学校煉瓦ホールなど構成文化財の公開事業を実施した。 7 平成29年4月に日本遺産認定を受けている「北前船寄港地・船主集落」への構成自治体としての追加認定を目指し、平成30年2月、日本遺産の変更申請を行っている。(追加認定発表：平成30年5月中旬頃) 8 文化財マップの作成を行った。 9 文化財の活用のため専門知識を有する担い手の育成を目指し、くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座を開催した。 (平成29年11月から月1回 計5回開催 参加者延べ465人)							
項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度														
修理・修景件数	2件	2件	2件														
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	呉市の「お宝」である文化財を保存活用することで、「魅力あるまちづくり」に貢献し、ふるさと「呉」に対する郷土愛を育むため			(5) 成果指標 指標名と説明													
			・旧澤原家住宅公開事業の参加者数 ・御手洗地区文化施設への来館者数 ・くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座参加者延べ人数														

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円	8,450	39,962	36,067	30,063	8,450
		県支出金 ②	千円	1,128	1,128	1,128	1,198	10,128
		地方債 ③	千円				8,600	
		その他 ④	千円	672	891	877	890	891
	一般財源 ⑤	千円	24,256	40,160	39,603	27,235	34,256	
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	34,506	82,141	77,675	67,986	53,725	
	人件費	人役						
		正規職員(7,990千円/年) ①	人役	3.40	3.40	3.40	4.00	4.00
		再任用職員(3,400千円/年) ②	人役					
嘱託職員(2,168千円/年) ③		人役						
上記以外 ④		千円						
【B】(①×7,990千円+②×3,400千円+③×2,168千円)	千円	27,166	27,166	27,166	31,960	31,960		
フルコスト【A】+【B】		千円	61,672	109,307	104,841	99,946	85,685	
活動実績	対象指標	① 呉市の4月末の住民基本台帳(外国人含む)の人数	人	234,697	232,393	229,735	226,793	226,793
	活動指標	① 文化財訪ね歩き講座実施回数	回	7	8	7	7	7
		② くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座実施回数	回	—	—	5	12	12
	成果指標	① 文化財訪ね歩き講座参加者数	人	176	157	180	200	200
		② 江戸みなとまち展示館・乙女座入館者数	件	3,209	4,305	2,657	3,000	3,000
		③ くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座参加延べ人数	人	—	—	465	1,000	1,000
特記事項								

4 学識経験者の意見

- ・子どもたちが呉の文化財を知り、興味を持つように、呉の文化財をまとめた冊子を各教室に置いたらよい。
- ・くれ文化遺産コンシェルジュはいいことなので増やしてほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<p>○文化財は長い歴史の中で生まれ、伝えられてきた貴重な財産であり、これを次世代に引き継ぐには、行政と共にその活用を図る必要がある。</p> <p>事業内容 ①指定文化財の保存・整備・・・保存事業の助成、文化財包蔵地の確認 ②文化財の掘り起し並びに文化財指定の検討 ③文化財を活用した事業・・・文化財訪ね歩き講座、くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座の実施、日本遺産ウイークによる公開活用事業</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	○文化財の適切な保存・管理には修復等に長い期間と膨大な経費がかかり、文化施設等の公開方法の見直しを含め、市民の理解を得るための啓発事業の実施が必要である。また、所有者や地域の伝承者が高齢となり、文化財を次世代に引き継ぎ、地域の宝として活用していくための早急な対策が必要である。	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	・文化財に興味・関心のある市民に対して、くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座を実施し、呉市の歴史・文化に関する専門的知識を有する市民等を養成するとともに、その専門知識を生かして、歴史講座の講師または地域のガイドとして、市民や来訪者に対して呉市の歴史・文化の情報発信を行い、文化財の活用・継承意識の向上を図っていく。また、日本遺産の認定など機会を捉え、市内の歴史文化資源の価値や魅力について、市民が再認識する啓発活動に取り組み、観光資源として積極的に情報発信・活用するため関係部局と連携協力していく。	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財に興味・関心のある市民に対して、専門的知識を有する市民等を養成するとともに、その専門知識を生かして、歴史・文化の情報発信を行い、文化財の活用・継承意識の向上を図る。 ・日本遺産の認定やユネスコ「世界の記憶」登録などの機会を捉え、市内の歴史文化資源の価値や魅力について、市民が再認識する啓発活動に取り組み、観光資源として積極的に情報発信・活用するため観光部局との連携協力を検討する。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識を有する市民等を養成するとともに、その専門知識を生かして、歴史講座の講師または地域のガイドとして、小・中学生を含めた市民や来訪者に対して呉市の歴史・文化の情報発信を行い、文化財の活用・継承意識の向上を図るため、くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座を3年間で30回程計画していく。平成29年度は、初年度として月1回、5回を開催した。 ・ユネスコ「世界の記憶」登録発表後、市内各所に横断幕・懸垂幕・看板などを設置し啓発活動に取り組んだ。

平成30年度点検・評価シート

		評価対象年度	平成29年度
整理番号	12	部課G名	文化スポーツ部 中央図書館 図書G
点検項目	図書館サービスの向上	1次評価者	中央図書館長 田中 宏典
		作成年月日	平成30年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	20 社会教育費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	15 図書館費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 図書館活動費		<input type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画
	細事業	10 読書推進活動事業		<input type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	大正14年度～
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	図書館法, 子どもの読書活動の推進に関する法律, 呉市子どもの読書活動推進計画
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	乳幼児, 児童, 視覚障害者 ボランティアグループ					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 絵本会の開催《絵本会グループと共催》 7館それぞれが毎月定期的に絵本会グループと共催の絵本会を開催するとともに、「子ども読書の日」等にちなんだ絵本会を行っている。また、図書館から遠い地域の子どもを対象に、まちづくりセンター、保育所、幼稚園、児童会等の要望に応じて「でまええほんかい」を開催している。</p> <p>2 絵本カーニバルの開催《くれ絵本カーニバル実行委員会主催》 市内絵本会グループ等が一同に集まって、毎年オークアリーナで秋期の2日間「ふしぎいっぱい のくれ絵本カーニバル」を開催している。</p> <p>3 イベント事業の開催 7館で参加型の各種イベントを開催している。</p> <p>4 市政だより音訳テープの作成・発送《朗読研究会と共催》 共催団体である朗読研究会「つばき」が、市政だより等の音訳テープを作成し、希望する視覚障害者に毎月無料で発送している。</p> <p>5 「子ども司書」養成講座の実施《広島県教育委員会と共催》 児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成することを目的として、7館それぞれで「子ども司書」養成講座を実施している。</p> <p>6 ブックリストの作成及び読書感想文の募集 親子読書活動推進のため、呉市立図書館独自のブックリスト「この本 だ～いすき！」を作成し、保育所・幼稚園・小・中学校等へ配布している。また、リスト掲載図書を対象に読書感想文を募集して、優秀作品を表彰している。</p> <p>7 小学校・中学校図書館部会との連携 児童・生徒の読書活動を推進するためには、教職員に図書館のことをよく知ってもらい、利用してもらうことが必要なことから、図書館部会との連携に努めている。</p> <p>8 図書館だよりの発行 利用者と本を結びつけるために、7館で図書館だよりを発行している。</p> <p>9 読書通帳の配布 児童の読書意欲向上に資するべく、平成28年度から読書通帳の配布を始めた。</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	1 子どもの読書習慣育成 2 視覚障害者への情報提供促進 3 ボランティア団体の育成及びスキルアップ		(5) 成果指標 指標名と説明	1 絵本会の参加人数 2 絵本カーニバル及びその他イベントの参加人数		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円					
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円					
			その他 ④	千円	192	216	270	300	300
			一般財源 ⑤	千円	46,542	46,691	46,525	42,510	42,510
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	46,734	46,907	46,795	42,810	42,810	
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	6.00	6.00	6.00	4.00	4.00
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役	1.00			2.00	2.00
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役	8.00	9.00	9.00	9.00	9.00
			上記以外 ④	千円					
【B】(①×7,990千円+②×3,400千円+③×2,168千円)			千円	68,684	67,452	67,452	58,272	58,272	
フルコスト【A】+【B】		千円	115,418	114,359	114,247	101,082	101,082		
活動実績	対象指標	① 乳幼児数	人	11,820	11,400	10,957	10,500	10,000	
		② 児童数	人	10,754	10,632	10,570	10,435	10,300	
	活動指標	① 絵本会の開催実績	回	169	176	185	195	200	
		② 絵本カーニバル及びその他イベントの開催実績	回	11	10	10	12	12	
	成果指標	① 絵本会の参加人数(延人数)	人	4,235	4,518	5,360	5,800	6,000	
		② 絵本カーニバル及びその他イベントの参加人数	人	2,320	1,937	2,425	3,000	3,000	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 中央図書館 文部科学大臣表彰受賞(子どもの読書活動優秀実践図書館として) 平成25年度 中央図書館の朗読ボランティア団体「朗読研究会『つばき』」 野間読書推進賞受賞者表彰 奨励賞受賞 								

4 学識経験者の意見

- 対象は、乳幼児、児童ということだが、対象を広げて大人向けの取り組みも必要だと思う。
- 大人にも視線を向けた取り組みをしてほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「絵本会」や「くれ絵本カーニバル」を始めとする各種イベント等、様々な読書推進活動が市民に定着してきた。 平成29年度には、貸出点数の減少傾向に歯止めがかかった。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> 新たな利用者層を開拓するため、魅力のある行事・イベント等を企画・実施するとともに、小・中学校やボランティア団体、まちづくりセンター等との連携を強化して、図書館の認知度を向上させていく必要がある。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き関係団体と連携しながら、様々な行事やイベントを実施して、新たな利用者層の開拓に取り組む。なお、平成30年度には、11月3日に全館を挙げて取り組む「図書館大好きフェスタ(仮称)」を開催する予定である。 読書通帳を更に活用して、児童が本に親しむきっかけづくりを進める。 引き続き、利用者ニーズに沿った蔵書構成や資料整備に取り組んでいく。 	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携しながら、新たな利用者層の開拓に取り組む。 図書館と利用者を結びつけるための情報発信に努める。 利用者ニーズに沿った蔵書構成や資料整備に取り組む。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> クリスマスや正月など、時季に応じた本を紹介するお楽しみ企画を実施するなど、子どもの読書意欲を促す催しを行った。 夏休み及び冬休み期間中に、中央図書館3階集会室を学習室として開放し、児童・生徒の利用促進を図った。

平成30年度点検・評価シート

		評価対象年度	平成29年度
整理番号	13	部課G名	文化スポーツ部 中央図書館 管理G・図書G
点検項目	図書館の適正な管理運営	1次評価者	中央図書館長 田中 宏典
		作成年月日	平成30年5月10日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	20 社会教育費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	15 図書館費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	35 図書館管理運営費		<input checked="" type="checkbox"/> 呉市アウトソーシング推進計画
	細事業	30 図書館管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 呉市公共施設再配置計画 1次 2次 <input checked="" type="checkbox"/> 3次
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業開始年度	大正14年度～
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	図書館法, 著作権法, 奉仕事務取決事項, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管理法)
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	市民					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 図書館サービス業務 市民が生涯にわたり、学び、楽しむ情報拠点としての役割を担うため、次のサービスを提供している。</p> <p>(1) 7館における質の高いレファレンスサービス及びカウンターサービス (2) インターネット予約サービス (3) 島しょ部への自動車図書館貸出サービス (4) 学校、保育所、まちづくりセンター等への団体貸出サービス (5) 昭和図書館の窓口業務委託</p> <p>2 図書館施設等管理業務 利用者に快適な読書環境を提供するため、専門業者に委託して、次の施設維持管理業務を行っている。</p> <p>(1) 中央図書館空調設備保守点検業務 (2) 中央図書館清掃業務 (3) 中央図書館環境衛生管理業務 (4) 図書館電算処理システム運用業務 各種データとの整合性を保ちながら、図書館利用者の利便性を高めるよう電算処理システムを運用。平成29年度には、システムサーバー機器を更新して、安定運用への措置を図った。 (5) 図書マーク作成業務 電算処理システムとの整合性を保つとともに、利用者に適切なレファレンスを提供できるよう図書マークを作成。 (6) 計画的な施設改修 平成29年度には、中央図書館照明器具のLED化を進め、快適な読書環境の整備を図った。</p> <p>3 職員のレベルアップ推進 段階的・計画的に、正規職員から嘱託職員への移行を進める中で、ノウハウの継承に取り組むとともに、研修受講機会の増加に努めている。</p> <p>(1) 図書資料の選定・受入・登録等のほかに、資料整備に係る予算管理や相互貸借についても、嘱託職員に一部事務を分担 (2) 嘱託職員を含めた全職員を対象とする「奉仕事務取決事項」研修等の実施 (3) 広島県立図書館が実施する各種研修への積極的な参加</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	利用者満足の上を目指す。そのための手段として、次のことを重点的に取り組む。		(5) 成果指標 指標名と説明	<p>1 人口一人当たり入館者数 2 人口一人当たり図書貸出点数</p>		
	<p>1 図書館サービスの充実・向上 2 快適な読書環境の提供</p>					

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H27(決算)	H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円					
			県支出金 ②	千円					
			地方債 ③	千円					
			その他 ④	千円	689	621	517	534	534
			一般財源 ⑤	千円	61,238	101,732	86,482	84,302	84,302
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	61,927	102,353	86,999	84,836	84,836	
	人件費	人役	正規職員(7,990千円/年) ①	人役	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			再任用職員(3,400千円/年) ②	人役	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			嘱託職員(2,168千円/年) ③	人役	28.00	25.00	26.00	26.00	26.00
			上記以外 ④	千円	26,752	23,935	23,977	26,410	26,410
【B】(①×@7,990千円+②×@3,400千円+③×@2,168千円)			千円	130,806	113,495	115,705	118,138	118,138	
フルコスト【A】+【B】		千円	192,733	215,848	202,704	202,974	202,974		
活動実績	対象指標	① 行政区内人口	人	232,230	229,868	226,725	224,000	221,000	
	活動指標	① 入館者数	人	911,156	835,546	892,889	910,000	920,000	
		② 図書貸出点数	点	960,136	931,370	1,051,167	1,100,000	1,150,000	
	成果指標	① 入館者数/人口	人	3.92	3.63	3.94	4.06	4.16	
		② 図書貸出点数/人口	点	4.13	4.05	4.64	4.91	5.20	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 昭和図書館の窓口業務をNPO法人昭和地区まちづくり協議会に委託 中央図書館施設修繕(内装クロス・床タイルカーペット張替, 電動ブラインド改修) 平成29年度 中央図書館照明器具取替修繕(LED化) 平成30年度 中央図書館ハロゲン化物消火設備交換予定 								

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> 出版業界が図書館を目の敵にしているといった報道があるが、図書館機能の在り方は、今後変わってくると思う。早めに検討が必要だと思う。 図書館を知ってもらう取り組みが必要である。 図書館で多様なメディアを扱う時代が来ると思う。
--

5 担当課の評価

(1) 自己評価・点検	評価結果 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	<ul style="list-style-type: none"> 職員の非正規化, 経費削減の中で, サービス内容の向上や快適な読書環境の整備等, 利用者満足度の向上に努めてきた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> 本離れ, ネット普及による図書館利用者の減少傾向が続いている。 施設の老朽化, 蔵書保存の容量等への対応を検討する必要がある。 司書資格者なくして図書館の管理運営は考えられないので, 核となる司書職員の確保育成を進めるための方策を検討する必要がある。 	
(3) 今後の方向性(見直しによる効果で数値化できるものがあれば併せて記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な施設改修により, 施設の長寿命化を図っていく。 ノウハウの継承と研修の充実により, 職員のレベルアップ及び接遇の向上を図っていく。 アウトソーシングの推進による管理運営を進めていくとともに, その効果検証を行っていく。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> 計画的な施設改修により, 施設の長寿命化を図る。 研修の充実等に努め, 職員のレベルアップを図る。 安定的かつ効果的な運営手法について調査研究を行う。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館照明器具のLED化に取り組み, 快適な読書環境の整備を図った。 管理運営手法について, 職員の非正規化によるアウトソーシングを進めることで, 安定化, 効率化を図ることとした。